第十一次基本計画　実施計画（目的指向体系表）

政策目標１　安全で安心して暮らせるまち

施策１－１　危機管理体制の充実

施策１－２　総合治水対策の強化

施策１－３　災害に強い建築物や公共施設の整備

施策１－４　生活安全の推進

施策１－５　消防体制の強化

担当課	危機対策課・水道課・下水道課・社会福祉課・健康推進課	施策1－1の全指標達成率					
政策目標 1	安全で安心して暮らせるまち	年度	R3	R4	R5	R6	R7
施策分野 1	危機管理体制の充実	指標数	22	22	22	22	22
目指す姿	市民、観光客等が、自然災害等により死傷しない	達成数	14	14	15	17	0
		達成率	63.6%	63.6%	68.2%	77.3%	0.0%

1　成果指標（ＫＰＩ）

	R3	R4	R5	R6	R7
指標数	1	1	1	1	1
達成数	1	1	1	1	0
達成率	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	0.0%

成果指標	発災時の人的被害者数	基準値		R3	R4	R5	R6	R7	単位	担当課
		R1	目標値	0	0	0	0	0	人	危機対策課
		6人	実績値	0	0	0	0			
			評　価	○　達成	○　達成	○　達成	○　達成			

目標値の考え方	大規模自然災害時における人命の保護を最優先とした、事前防災対策を推進していくため発災時の人的被害者数を０人に設定した。
R3年度	（実績評価）・熱海市で大規模土石流災害発生の原因となった大雨で、本市においても7月１日から４日の間避難所を開設し、避難者８人を受け入れたが、死傷者を出すような大規模な自然災害の発生はなかった。 （次年度修正点）・修正はなし。引き続き人命の保護を最優先とした、事前防災対策の推進に努めていく。
R4年度	（実績評価）・８月１３、１４日及び９月２４日に大雨のため避難所を開設し、合計５名の避難者を受け入れたが、死傷者を出すような大規模な自然災害の発生はなかった。 （次年度修正点）・修正はなし。引き続き人命の保護を最優先とした事前防災対策の推進に努めていく。
R5年度	（実績評価）・６月２、３日及び３月２９日に大雨のため避難所を開設し、合計９名の避難者を受け入れたが、死傷者を出すような大規模な自然災害の発生はなかった。 （次年度修正点）・修正はなし。引き続き人命の保護を最優先とした事前防災対策の推進に努めていく。
R6年度	（実績評価）・６月１８日及び８月３０日から９月１日に大雨のため避難所を開設し、合計６４名の避難者を受け入れたが、死傷者を出すような大規模な自然災害の発生はなかった。 （次年度修正点）・修正はなし。引き続き人命の保護を最優先とした事前防災対策の推進に努めていく。

2　基本的な取組（２桁コード）・主な内容（４桁コード）

	R3	R4	R5	R6	R7
指標数	21	21	21	21	21
達成数	13	13	14	16	
達成率	61.9%	61.9%	66.7%	76.2%	0.0%

※ 基本的な取組・主な内容の達成状況

01　津波避難困難地区の解消

達成状況	R3	R4	R5	R6	R7
指標数	2	2	2	2	2
達成数	1	1	1	1	0
達成率	50.0%	50.0%	50.0%	50.0%	0.0%

主な内容		管理指標	基準値		R3	R4	R5	R6	R7	単位	担当課
0101	津波避難協力ビルの新規指定	津波避難協力ビルの指定数	R1	目標値	42	44	46	48	50	棟	危機対策課
			39棟	実績値	39	38	38	38			
				評　価	×　未達成	×　未達成	×　未達成	×　未達成		以上	
0102	海抜表示や避難方向誘導サインの設置	津波避難標識設置に伴う新規事業数	R1	目標値	1	1	1	1	1	事業	危機対策課
			１事業	実績値	1	1	1	1			
				評　価	○　達成	○　達成	○　達成	○　達成		以上	

年度評価		
R3	0101	津波避難困難地域の解消率が99.1%となっているが、残り0.9%については津波避難協力ビルの指定では解消されない状況である。避難の選択肢を広げるために引き続き避難協力ビルの指定を行っていくとともに、0.9%の解消に向けた検討を継続していく。
	0102	津波避難標示看板を３基（オレンジビーチ内・なぎさ公園駐車場・藤の広場内）設置した。今後についても、引き続き市民及び観光客の避難誘導をスムーズに行うためのサインの設置を計画的に進めていく。
R4	0101	宇佐美地区で１件、営業を廃止するとともに津波避難協力ビルの指定を解除してほしい旨の申し出があり棟数は減となった。津波避難困難地域の解消率については変わらず99.1%となっており、残りの0.9%については津波避難協力ビルの指定では解消されない状況であるが、避難の選択肢を広げるために引き続き指定に向けた働きかけをしていく。
	0102	市内の電柱に設置されている海抜表示看板を146か所交換し、68か所の撤去を実施した。今後についても、これまでに設置した海抜表示や避難方向誘導サインの状況を確認し更新していく。
R5	0101	津波避難困難地域の解消率については変わらず99.1%となっており、残りの0.9%については津波避難協力ビルの指定では解消されない状況であるが、避難の選択肢を広げるために引き続き指定に向けた働きかけをしていく。
	0102	平成27年度、平成29年度に整備した津波避難誘導の路面表示１１６か所のうち、経年劣化に伴い損傷が著しい３８か所を更新した。今後も、必要に応じて改修していく。
R6	0101	津波避難協力ビルについて、令和６年度中に新たに２施設を指定したが、一方で現在、使用できないことが確認された２施設の指定を取り消したことから、実績値は３８棟となっている。引き続き指定に向けた働きかけをしていく。
	0102	津波避難標示看板を２基（観光会館・観光会館別館）設置した。今後についても、引き続き市民及び観光客の避難誘導をスムーズに行うためのサインの設置を計画的に進めていく。

02　防災意識及び知識の向上

達成状況		R3	R4	R5	R6	R7
	指標数	3	3	3	3	3
	達成数	1	2	2	2	0
	達成率	33.3%	66.7%	66.7%	66.7%	0.0%

主な内容	管理指標	基準値		R3	R4	R5	R6	R7	単位	担当課
0201 美しい伊豆創造センターと連携した防災研修	美しい伊豆創造センターと連携した防災研修開催回数	R1 1回	目標値	1	1	1	1	1	回以上	危機対策課
			実績値	0	3	2	4			
			評　価	×　未達成	○　達成	○　達成	○　達成			
0202 防災講演会の実施	防災講座の実施回数	R1 10回	目標値	10	10	10	10	10	回以上	危機対策課
			実績値	11	18	14	19			
			評　価	○　達成	○　達成	○　達成	○　達成			
0203 防災訓練の実施	自主防災組織における地域で行われる防災訓練の実施率	R1 82%	目標値	100	100	100	100	100	%	危機対策課
			実績値	94.0	96.4	91.1	88.6			
			評　価	×　未達成	×　未達成	×　未達成	×　未達成			

年度評価

R3

- 0201 伊豆半島ジオパーク推進協議会と連携した取組の実施はなし。今後については、火山に関する防災講座等の開催が予定される際には必要な情報を提供していただくよう働きかけていく。
- 0202 令和３年度については、１１回の防災講演会を開催した。今後についても防災意識の向上を目標に、引き続き小中学校や自治会、介護施設や民間企業等を対象とした講演会の要請に応えていく。
- 0203 158の自主防災組織が防災訓練を実施した。今後については、残りの１０の自主防災会に訓練の開催を促し、全ての自主防災組織が防災訓練を実施することにより、実施率100%を目指していく。

R4

- 0201 美しい伊豆創造センターと連携した研修会等の開催はなかったが、３回にわたり開催された委員会に出席することで、情報の共有を図れたため出席数を実績値とし、目標達成とする。今後は、美しい伊豆創造センターが火山に関する防災講座等の開催を予定した際には、必要な情報を提供いただけるよう働きかけていく。
- 0202 令和４年度については、対面で講座を実施することへの市民の抵抗が軽減したため、目標値を大きく上回る実施回数となった。令和５年度については、引き続き目標値の達成を目指し、市民等からの開催要望に応えていく。
- 0203 168の自主防災会のうち162の自主防災会が防災訓練を実施した。実施率は前年度に比べ上昇したが、目標値の達成とはならなかった。引き続きすべての自主防災会が防災訓練を実施するよう呼びかけていく。

R5

- 0201 美しい伊豆創造センターと連携した研修会等の開催はなかったが、２回にわたり開催された委員会に出席することで、情報の共有を図れたため出席数を実績値とし、目標達成とする。今後は、美しい伊豆創造センターが火山に関する防災講座等の開催を予定した際には、必要な情報を提供していただけるように働きかけていく。
- 0202 令和５年度についても、住民からの開催要望や自主防災会活動説明会等の場で防災講話を実施し、目標を達成することができた。引き続き市民等からの開催要望に応えていく。
- 0203 169の自主防災会のうち、154の自主防災会が総合防災訓練又は地域防災訓練の実施日に防災訓練を実施した。実施自治会数が昨年度よりも減少しているため、毎年開催する自主防災会活動説明会において訓練実施の呼びかけを行っていく。

R6

- 0201 美しい伊豆創造センターと連携した研修会等の開催については、令和7年2月7日に実施した「伊豆東部火山群防災協議会コアグループ会議」において、伊豆東部火山群とゆかりのある大室山・一碧湖の現地視察を行った際、同センター専任研究員を講師に招いた。また、3回にわたり開催された委員会に出席することで、情報共有を図れたため出席数も実績値に含めた。
- 0202 令和６年度についても、住民からの開催要望や防災訓練、自主防災会活動説明会等の場で防災講話を実施し、目標を達成することができた。引き続き市民等からの開催要望に応え、防災講座を実施していく。
- 0203 総合防災訓練が台風接近による悪天候のため中止となり、訓練回数が減少したものの、167の自主防災会のうち、148の自主防災会が地域防災訓練又は津波避難訓練の機会に防災訓練を実施した。なお、天候等の影響により、計画した訓練が実施できないことも想定されることから、訓練の機会を有効に利用して地域防災力の向上を図るため、今後も、毎年開催する自主防災会活動説明会や総合防災訓練説明会において、訓練を継続して実施するよう呼び掛けていく。

03　防災拠点施設の環境整備

達成状況						
指標数	2	2	2	2	2	
達成数	2	2	2	2	0	
達成率	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	0.0%	

主な内容	管理指標	基準値		R3	R4	R5	R6	R7	単位	担当課
0301 避難生活用食糧及び防災資機材の備蓄	市の緊急物資（食料）の備蓄量（約10万食を維持）	R1 10万食	目標値	10万	10万	10万	10万	10万	食以上	危機対策課
			実績値	10万	13万	10万	12万			
			評　価	○　達成	○　達成	○　達成	○　達成			
0302 避難所の環境整備	避難所運営訓練の実施回数	R2 2回	目標値	1	1	1	1	1	回以上	危機対策課
			実績値	1	1	2	1			
			評　価	○　達成	○　達成	○　達成	○　達成			

年度評価		
R3	0301	食料の備蓄の目安としている10万食を確保している。今後についても10万食以上を維持するよう適正に管理していく。
	0302	支部職員活動説明会に合わせて避難所運営訓練を実施し、新型コロナウイルス感染症の影響により、対応に変更があった箇所について情報の共有を図った。今後についても同様の形で実施していく。
R4	0301	令和４年度末の備蓄数としては13万食となっているが、令和５年度当初に約2万食が期限切れとなる。常に食料備蓄の目安としている10万食を確保するよう計画的な購入を継続していく。
	0302	支部職員活動説明会に合わせて避難所運営訓練を実施した。今後については、新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置づけが、５類へと移行されることに伴う運営方法の変更についての情報共有を図り、同様の形で実施していく。
R5	0301	令和５年度末の食料備蓄数は約10万6千食であり、目安としている10万食を確保できた。引き続き、計画的な購入を継続していく。
	0302	総合防災訓練や支部職員活動説明会に合わせて避難所運営訓練を実施した。新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置づけが、５類へと移行されることに伴う運営方法の変更について情報共有を図った。
R6	0301	令和６年度末の食料備蓄数は約１２万食であり、目安としている10万食を確保できた。引き続き、食料備蓄の目安としている１０万食を確保できるように計画的な購入を継続していく。
	0302	支部職員活動説明会に合わせて避難所運営訓練を実施した。今後も、訓練内容を適宜見直し、避難所開設時に円滑な運営ができるよう、支部職員への情報共有等を行っていく。

04　地域防災力の強化

達成状況						
指標数	1	1	1	1	1	
達成数	0	0	1	1	0	
達成率	0.0%	0.0%	100.0%	100.0%	0.0%	

主な内容	管理指標	基準値		R3	R4	R5	R6	R7	単位	担当課
0401 自主防災組織への防災資機材の交付	自主防災組織の防災資機材充足率	R1 64%	目標値	100	100	100	100	100	%	危機対策課
			実績値	59.0	48.0	100	100			
			評　価	×　未達成	×　未達成	○　達成	○　達成			

年度評価		
R3	0401	102の自主防災組織から要望のあった1,778個の資機材のうち1,157個の資機材を交付した。今後については、有事に備えるために必要な各自主防災組織から要望される資機材を可能な限り交付できるよう努めていく。
R4	0401	防災資機材の交付については、自主防災組織の加入人数やその地域の居住人数等を参考に交付する資機材の数量等を決定している。資機材の充足率については、高い水準ではないが、地域に本当に必要な資機材を選定し交付することで自主防災組織の防災力向上に寄与するよう、今後も継続して交付していく。
R5	0401	令和５年度については、自主防災組織育成事業の財源である、静岡県地震・津波対策等減災交付金が、「わたしの避難計画がんばる市町」の認定を受け、補助率が従来の1/3から2/３となったことより、事業の拡充を図ることができた。
R6	0401	自主防災会からの要望どおりに防災資機材の交付をすることができた。今後も自主防災活動に必要となる新たな防災資機材の情報提供を行うなど、地域防災力の強化に努めていく。

05　情報伝達体制の多重化

達成状況						
指標数	3	3	3	3	3	
達成数	2	1	1	2	0	
達成率	66.7%	33.3%	33.3%	66.7%	0.0%	

主な内容	管理指標	基準値		R3	R4	R5	R6	R7	単位	担当課
0501　同報無線設備の整備	同報無線屋外拡声子局の充足率	R1 100%	目標値	100	100	100	100	100	%	危機対策課
			実績値	100	100	100	100			
			評　価	○　達成	○　達成	○　達成	○　達成			
0502　戸別受信機の整備	テレビプッシュサービスの普及（登録世帯数）	R1 144世帯	目標値	250	290	330	370	400	世帯以上	危機対策課
			実績値	202	147	131	122			
			評　価	×　未達成	×　未達成	×　未達成	×　未達成			
0503　メールマガジンの登録推進	メールマガジン（防災情報）登録者数 ※1	R1 8,942人	目標値	10,000	10,500	11,000	―	―	人以上	危機対策課
			実績値	10,301	10,075	9,845	―	―		
			評　価	○　達成	×　未達成	×　未達成	―	―		
0504　LINEの登録推進	LINE登録者数（防災情報）登録者数 ※1	R5 7,233人	目標値	―	―	―	8,000	9,000	人以上	危機対策課
			実績値	―	―	―	10,809			
			評　価	―	―	―	○　達成			

年度評価

R3	0501	設置が必要と考える同報無線の屋外拡声子局149基は設置済みのため、今後については適正な維持管理のための保守点検等を定期的に実施していく。
	0502	目標世帯数を大幅に下回る結果となった。テレビプッシュサービスについては、サービスの有効性を広く周知することが重要であるため、今後については、より多くの方に知っていただくようIKCとも連携してＰＲしていく。
	0503	メールマガジンの登録者数については目標値を超えているが、市が発信する情報を受け取るための最大の媒体であるため、より一層の登録者数増に取り組んでいく。
R4	0501	同報無線屋外拡声子局については、充足率100%を維持するよう、市民からの要望等があった際には迅速に検討し対応していく。
	0502	テレビプッシュサービスについては、昨年度より導入を進めている緊急告知ラジオの普及に伴い、情報を取得する手段が多様化し選択できるようになったため、他の方法を選択したことにより、登録者数が減少したものと思われる。それぞれの方法での登録者数増のため、本サービスについても引き続き周知していく。
	0503	メールマガジンの登録者数については前年と比べ293人減少しているが、防災情報の取得手段としてLINEを選ぶ方が増えているため、LINE登録者は前年より人増加している。今後については、各媒体の登録者数の増減を注視する中で、より多くの人に情報を届けるための手段について、引き続き検討していく。
R5	0501	同報無線屋外拡声子局については、充足率100%を維持するよう、市民からの要望等があった際には迅速に対応していく。また、保守点検や住民からの通報による不具合が発覚した場合にも迅速に対応し、情報伝達に支障がないよう、維持管理にも努める。
	0502	テレビプッシュサービスについては、緊急告知ラジオの普及をはじめとして情報を取得する手段が多様化し選択できるようになったことにより、情報収集手段を見直される方が増加し、テレビプッシュサービスの登録者数が減少したものと考えられる。災害情報の収集手段を充実させるため、本サービスについても引き続き周知していく。
	0503	メールマガジンの登録者数については前年と比べ230人減少しているが、防災情報の取得手段としてLINEを選ぶ方が増えているため、LINE登録者は前年より962人増加している。そのため、管理指標０５０３を見直し、新たに管理指標０５０４を設定した。引き続き、各媒体の登録者数の増減を注視する中で、より多くの人に情報を届けるための手段の検討を行っていく。
R6	0501	同報無線屋外拡声子局については、充足率100%を維持するよう、市民からの要望等があった際には迅速に対応していく。また、保守点検や住民からの通報による不具合が発覚した場合にも迅速に現地点検等を実施し、情報伝達に支障がないよう、維持管理にも努める。
	0502	緊急告知ラジオの導入等により、テレビプッシュサービスの登録者数が減少したものと推察される、視覚のみで情報を取得できるテレビプッシュサービスは、聴覚障がい者への情報伝達手段として有効なツールであるため、今後は社会福祉課と連携し、聴覚障がい者への周知を図っていく。
	0504	LINEの防災情報の登録者数は、基準値となっている令和５年度の7,233人から3,576人増加した。市公式LINEアカウントがリニューアルされたことにより、利用者が登録情報を見直したことも増加要因として考えられる中、伊東市総合防災ガイドブックや防災講話等でも情報収集ツールとしてLINEの活用を呼びかけた。引き続き、防災情報の取得手段として発信するとともに、より多くの人に情報を届けるための手段の検討を行っていく。

※1　新たな情報収集ツールとして、LINE登録者数が増加しているため、管理指標０５０３を見直し、新たに管理指標０５０４を設定した。

06　帰宅困難者対策の整備

達成状況						
指標数	1	1	1	1	1	
達成数	1	1	1	1	0	
達成率	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	0.0%	

主な内容	管理指標	基準値		R3	R4	R5	R6	R7	単位	担当課
0601　宿泊施設等との災害協定による協力体制の強化	災害時相互応援協定の実効性を高める協議回数	R1 1回	目標値	1	1	1	1	1	回以上	危機対策課
			実績値	1	1	1	1			
			評　価	○　達成	○　達成	○　達成	○　達成			

年度評価

R3	0601	災害時相互応援協定等の締結先については、常にお互いの情報が最新のものとなるよう、担当者等に変更が生じた際には情報を共有している。
R4	0601	災害時相互応援協定等については、宿泊施設に限らず、締結先の事業者と常にお互いの情報が最新のものとなるよう、担当者等に変更が生じた際には情報を共有している。
R5	0601	災害時相互応援協定等については、宿泊施設に限らず、締結先の事業者と常にお互いの情報が最新のものとなるよう、担当者等に変更が生じた際には情報を共有している。
R6	0601	災害時相互応援協定等については、宿泊施設に限らず、締結先の事業者と常にお互いの情報が最新のものとなるよう、担当者等に変更が生じた際には情報を共有している。

07 避難行動要支援者避難支援計画の充実

達成状況						
指標数	2	2	2	2	2	
達成数	2	2	2	2	0	
達成率	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	0.0%	

主な内容	管理指標	基準値		R3	R4	R5	R6	R7	単位	担当課
0701 避難行動要支援者名簿の配付	民生委員児童委員への名簿の配付率	R2 100%	目標値	100	100	100	100	100	%	社会福祉課
			実績値	100	100	100	100			
			評　価	○　達成	○　達成	○　達成	○　達成			
0702 要支援者の実情把握	避難行動要支援者名簿を活用した対象者の実情把握(率)	R2 100%	目標値	100	100	100	100	100	%	社会福祉課
			実績値	100	100	100	100			
			評　価	○　達成	○　達成	○　達成	○　達成			

年度評価

R3	0701 各地区定例会に出席し、名簿に関する取扱方法等について説明を行ったのち、委員への配付を行った。 0702 情報の更新作業を行うことで、名簿配付時には更新された情報を提供することができた。また、避難支援等関係者にあっては提供された情報をもとに実情把握に努めた。
R4	0701 民生委員児童委員に対し避難行動要支援者名簿を配付したことで、地域住民の実態把握や見守り活動に活用することができた。 0702 名簿情報の更新を行い、避難支援体制の整備に向けて、対象者の情報収集に努めた。
R5	0701 民生委員児童委員に対し避難行動要支援者名簿を配付したことで、地域住民の実態把握や見守り活動に活用することができた。 0702 名簿情報の更新を行い、避難支援体制の整備に向けて、対象者の情報収集に努めた。
R6	0701 民生委員児童委員に対し避難行動要支援者名簿を配付したことで、地域住民の実態把握や見守り活動に活用することができた。 0702 名簿情報の更新を行い、避難支援体制の整備に向けて、対象者の情報収集に努めた。

08 上下水道施設に係る災害・事故時に迅速に対応できる体制づくり

達成状況						
指標数	3	3	3	3	3	
達成数	3	3	2	3	0	
達成率	100.0%	100.0%	66.7%	100.0%	0.0%	

主な内容	管理指標	基準値		R3	R4	R5	R6	R7	単位	担当課
0801 緊急時における資材・配管材の確保	備蓄資材の品目数	R2 237品目	目標値	237	237	237	237	237	品目以上	水道課
			実績値	237	237	237	237			
			評　価	○　達成	○　達成	○　達成	○　達成			
0802 応援協力体制の確立	他事業体との協定の締結	R2 7団体（維持）	目標値	7	7	7	7	7	団体以上	水道課
			実績値	7	7	7	7			
			評　価	○　達成	○　達成	○　達成	○　達成			
		R2 0団体（期間中1団体と締結）	目標値	1	1	1	1	1	団体以上	下水道課
			実績値	1	1	0	1			
			評　価	○　達成	○　達成	×　未達成	○　達成			

年度評価

R3	0801 災害や突発的な漏水事故に備えるため、引き続き備蓄資材の確保に努め、緊急対応できる体制を整える。 0802 大規模災害等に備え、他の事業団体との応援協力体制の確保について努めていく。【水道課】 静岡県環境施設メンテナンス協同組合と「災害時における応急対策活動に関する協力協定」を締結した。【下水道課】
R4	0801 災害や突発的な漏水事故に備えるため、引き続き備蓄資材の確保に努め、緊急対応できる体制を整える。 0802 大規模災害等に備え、他の事業団体との応援協力体制の確保について努めていく。【水道課】 R3に目標を達成したことから、今後は協定団体の数を増やして行きたい。【下水道課】
R5	0801 災害や突発的な漏水事故に備えるため、引き続き備蓄資材の確保に努め、緊急対応できる体制を整える。 0802 大規模災害等に備え、他の事業団体との応援協力体制の確保に努めていく。【水道課】 令和3年度に目標を達成したものの、令和５年度中に協定先である静岡県環境施設メンテナンス協同組合が解散したため未達成となった。今後は新たな協定先を選定し締結を目指す。【下水道課】
R6	0801 災害や突発的な漏水事故に備えるため、引き続き備蓄資材の確保に努め、緊急対応できる体制を整える。 0802 大規模災害等に備え、他の事業団体との応援協力体制の確保に努めていく。【水道課】　静岡県下水道防災計画の第2章第1節 静岡県下水道広域支援計画で、県と公益社団法人日本下水道管路管理業協会中部支部静岡県部会が「災害時における応急対策業務に関する協定」を締結し、「政令指定都市を除く県内の市町が、管路協静岡県支部と個々に協定を締結したとみなし、迅速に被災調査や応急措置に対応することができる。」としているため、本市への応援協力体制は確立した。【下水道課】

09　感染症対策の推進

達成状況						
指標数	4	4	4	4	4	
達成数	1	1	2	2	0	
達成率	25.0%	25.0%	50.0%	50.0%	0.0%	

主な内容		管理指標	基準値		R3	R4	R5	R6	R7	単位	担当課
0901	感染症に関する正しい知識の普及	講習会開催数	R1	目標値	10	10	10	10	10	回	健康推進課
			4回	実績値	5	5	5	5			
				評　価	×　未達成	×　未達成	×　未達成	×　未達成		以上	
0902	感染症を予防する生活習慣づくり	肺がん・肺結核検診受診率	H30	目標値	36.0	36.0	36.0	36.0	36.0	%	健康推進課
			11.4%	実績値	10.3	10.4	R8.2公表	R9.2公表			
				評　価	×　未達成	×　未達成				以上	
0903	災害時の感染症予防について関係医療機関との連携強化	災害時医療救護等対策連絡会の実施回数	R1	目標値	2	2	2	2	2	回	健康推進課
			2回	実績値	0	1	2	2			
				評　価	×　未達成	×　未達成	○　達成	○　達成		以上	
0904	感染症対策を踏まえた避難所運営マニュアルの整備	避難所運営マニュアルの見直し回数	R1	目標値	1	1	1	1	1	回	危機対策課
			1回	実績値	1	1	1	1			
				評　価	○　達成	○　達成	○　達成	○　達成		以上	

年度評価

R3

0901 保健委員の全員研修会で実施。後半の研修が新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止になり10回実施予定が5回になった。

0902 推計対象者数28,540人、受診者は2,741人。令和2年度はコロナ禍で受診者が減ったものの、令和3年度は微増となった。今後、感染対策を強化しながら更なる受診勧奨を図っていく。

0903 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止

0904 ４月に実施する避難所運営訓練に合わせ、前年度の運用結果等を考慮し最新の情報に改訂している。

R4

0901 保健委員の研修会で感染予防の研修を実施。特に手洗いの重要性をPRするために手洗いチェッカーを用いて、保健委員が自ら「正しい手洗い方法」についての研修を行ったが未達成であった。今後、福祉施設等から講習会開催の依頼があった際には、健康の社会的決定要因に考慮しながら開催方法を検討していく。

0902 推計対象者数26,146人、受診者は2,713人。令和3年度に続き微増となったが目標には遠いので、今後はSNS等も活用した受診勧奨を図っていく。

0903 新型コロナウイルス感染症の急激な感染拡大に伴い、令和３年度と同様に中止した。今後、新型コロナウイルスによる制限が緩和された中で、健康の社会的決定要因を考慮しながら開催出来るように方法を検討し、引き続き関係医療機関との連携強化に努める。

0904 ４月に実施する避難所運営訓練に合わせ、前年度の運用結果等を考慮し最新の情報に改訂している。

R5

0901 目標値には届かなかったが、保健委員対象に感染症に関する支部研修を５回実施したほか、担当保健師からは日常的に事業を実施する中で感染症対策に関する周知啓発活動を行った。

0902 令和８年２月公表

0903 年２回開催し、目標に達した。今後は、連絡会を通じ感染症予防に鑑みた訓練内容の検討や資機材の購入について関係医療機関と連携を図っていく。

0904 新型コロナウイルス感染症が5類感染症に引き下げられたことにより、避難所運営マニュアルを改訂した。

R6

0901 昨年度と同じく保健委員の研修会にて講習会を実施した。コミセンまつりや保健委員通信等で講習会のPRを行ったものの、目標値には届かなかったため、保健委員の活動内容を見直し、更に増回について検討する。

0902 令和９年２月公表

0903 年２回開催し目標を達成した。今後は、感染症予防をテーマにした訓練内容について連絡会で検討するとともに、関係医療機関とも情報共有を図っていく。

0904 ４月に実施する避難所運営訓練に合わせ、前年度の運用結果等を考慮し最新の情報に改訂している。

担当課		建設課・危機対策課・産業課
政策目標	1	安全で安心して暮らせるまち
施策分野	2	総合治水対策の強化
目指す姿		市域で水害や土砂災害が発生しない

施策1－2の全指標達成率					
年度	R3	R4	R5	R6	R7
指標数	15	15	15	15	15
達成数	12	13	13	13	0
達成率	80.0%	86.7%	86.7%	86.7%	0.0%

1　成果指標（ＫＰＩ）

	R3	R4	R5	R6	R7
指標数	2	2	2	2	2
達成数	1	1	1	1	0
達成率	50.0%	50.0%	50.0%	50.0%	0.0%

成果指標1	河川が溢れる件数	基準値		R3	R4	R5	R6	R7	単位	担当課
		R1	目標値	0	0	0	0	0	件	建設課
		0件	実績値	0	0	0	0			
			評　価	○　達成	○　達成	○　達成	○　達成			
目標値の考え方	雨天時における河川の流下能力・危険箇所の把握、時間雨量50mmに対応できる河川及び水路の計画的な整備、河川等の補修に関する市民要望を迅速かつ的確に対応して被害を無くす。									

成果指標2	急傾斜地崩壊危険区域指定の総指定箇所数	基準値		R3	R4	R5	R6	R7	単位	担当課
		R1	目標値	35	36	37	38	39	か所	建設課
		34か所	実績値	34	34	34	34			
			評　価	×　未達成	×　未達成	×　未達成	×　未達成		以上	
目標値の考え方	急傾斜地崩壊危険区域指定の促進、事業における地域住民との調整を行い県へ要望する箇所数を１箇所以上とする。									

R3年度	1	（実績評価）・随時、危険箇所の修繕、溢水箇所の改修を行い、また、大雨時におけるパトロールを実施したことにより、河川及び水路の溢水による被害を防止した。 （次年度修正点）・大雨時のパトロールを強化し、危険箇所の把握を行い、日常的な維持管理に努める。
	2	（実績評価）・要望箇所における地元調整を行ったが、受益者の同意が得られず、指定に至らなかった。 （次年度修正点）・地元説明会を適宜行い、全ての受益者等の理解を得て、区域の指定促進に努める。
R4年度	1	（実績評価）・適宜、危険箇所の修繕、溢水箇所の改修を行い、気象情報を注視しパトロールを実施したことにより、河川及び水路の溢水による被害を防止した。 （次年度修正点）・定期パトロールを強化するとともに、危険箇所の把握を行い、日常的な維持管理に努める。
	2	（実績評価）・要望箇所（見晴町）において、静岡県急傾斜地崩壊対策事業費補助金（指定促進）の要求を行った。 （次年度修正点）・地元説明会を適宜行い、受益者等の理解を得て、区域指定を促進する。
R5年度	1	（実績評価）・危険箇所の修繕や溢水箇所の改修を適宜行うとともに、気象情報を注視しパトロールを実施したことにより、河川及び水路の溢水による被害を防止した。 （次年度修正点）・定期パトロールを強化し、危険箇所の把握を行い、日常的な維持管理に努める。
	2	（実績評価）・要望箇所（見晴町）において、静岡県急傾斜地崩壊対策事業費補助金（指定促進）の要求を行った。 （次年度修正点）・地元説明会を適宜行い、受益者等の理解を得て、区域指定を促進する。
R6年度	1	（実績評価）・危険箇所の修繕や溢水箇所の改修を適宜行うとともに、気象情報を注視しパトロールを実施したことにより、河川及び水路の溢水による被害を防止した。 （次年度修正点）・定期パトロールを強化し、危険箇所の把握を行い、日常的な維持管理に努める。
	2	（実績評価）・要望箇所（吉田）において、静岡県急傾斜地崩壊対策事業費補助金（指定促進）の要求を行った。 （次年度修正点）・地元調整を適宜行い、受益者の理解を得て、区域指定を促進する。

2　基本的な取組（2桁コード）・主な内容（4桁コード）								※ 基本的な取組・主な内容の達成状況
		指標数	13	13	13	13	13	
		達成数	11	12	12	12	0	
		達成率	84.6%	92.3%	92.3%	92.3%	0.0%	
01	河川及び水路の整備促進及び維持管理	達成状況	指標数	5	5	5	5	5
			達成数	5	5	5	5	0
			達成率	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	0.0%

	主な内容	管理指標	基準値		R3	R4	R5	R6	R7	単位	担当課
0101	雨天時における河川の流水能力・危険箇所の把握	大雨後のパトロールの実施率	R1 100%	目標値	100	100	100	100	100	%	建設課
				実績値	100	100	100	100			
				評　価	○　達成	○　達成	○　達成	○　達成			
0102	時間雨量50mmに対応できる河川及び水路の計画的な整備	整備河川数（累計）	R1 1河川	目標値	1	2	3	4	5	河川以上	建設課
				実績値	1	2	6	6			
				評　価	○　達成	○　達成	○　達成	○　達成			
0103	河川等の補修に関する市民要望への迅速かつ的確な対応	修繕等の処理率（地域応急処理事業）	R1 100%	目標値	100	100	100	100	100	%	建設課
				実績値	100	100	100	100			
				評　価	○　達成	○　達成	○　達成	○　達成			
0104	事業における地域住民との調整	県事業における地元住民の調整件数	R1 0件	目標値	1	1	1	1	1	件以上	建設課
				実績値	2	1	1	1			
				評　価	○　達成	○　達成	○　達成	○　達成			
0105	国県への要望活動の推進	県事業の実施回数	R1 1回	目標値	1	1	1	1	1	回以上	建設課
				実績値	2	1	1	1			
				評　価	○　達成	○　達成	○　達成	○　達成			

年度評価		
R3	0101	大雨時におけるパトロールの実施により、危険箇所等の把握を行い、日常点検・維持管理に努めることができた。
	0102	普通河川ゆがわ及び鎌田地内水路の改良事業については、継続して実施している。鎌田久保方地内水路の改良事業については、単年度で整備を完了した。
	0103	要望等に対し、現場確認及び業者依頼を早急に行い、適切な維持管理に努めることができた。
	0104	二級河川の維持事業として、北川の除草及び宇佐美三河川のあし・樹木伐採についての調整を行った。
	0105	二級河川伊東大川（根固めブロック・伐採）及び二級河川烏川（根継）の整備を行った。
R4	0101	大雨時におけるパトロールの実施により、危険箇所等の把握を行い、日常点検・維持管理に努めることができた。
	0102	普通河川ゆがわ及び鎌田地内水路の改良事業については、継続して実施している。吉田地内水路の改良事業については、単年度で整備を完了した。
	0103	市民要望に対し、現場確認及び業者依頼を早急に行い、適切な維持管理に努めることができた。
	0104	主要地方道伊東修善寺線を横断している床板工事や浚渫工事について調整を行った。
	0105	二級河川烏川（根継）の整備を行った。
R5	0101	大雨時におけるパトロールの実施により、危険箇所等を把握し、日常点検・維持管理に努めることができた。
	0102	普通河川ゆがわ、準用河川対島川、鎌田地内水路の改良事業については、継続して実施している。宮川町二丁目地内水路の改良事業については、単年度で整備を完了した。
	0103	市民要望に対し、現場確認及び業者依頼を早急に行い、適切な維持管理に努めることができた。
	0104	国道１３５号（富戸地区）の市道との取り合い部において地権者との調整を行った。
	0105	二級河川大川（根固めブロック・伐採）の整備を行った。
R6	0101	大雨時におけるパトロールの実施により、危険箇所等の把握を行い、日常点検・維持管理に努めることができた。
	0102	普通河川ゆがわ及び鎌田地内水路の改良事業については、継続して実施している。
	0103	市民要望に対し、現場確認及び業者依頼を早急に行い、適切な維持管理に努めることができた。
	0104	要望箇所の地元調整を行った。
	0105	二級河川烏川（根固ブロック）の整備を行った。

02 砂防及び急傾斜地崩壊防止事業の促進

達成状況						
指標数	3	3	3	3	3	
達成数	2	2	2	2	0	
達成率	66.7%	66.7%	66.7%	66.7%	0.0%	

	主な内容	管理指標	基準値		R3	R4	R5	R6	R7	単位	担当課
0201	急傾斜地崩壊危険区域指定の促進	年間指定箇所数 ＊指定箇所は事業化決定	R1 0か所	目標値	1	1	1	1	1	か所以上	建設課
				実績値	0	0	0	0			
				評　価	× 未達成	× 未達成	× 未達成	× 未達成			
0202	事業における地域住民との調整	県事業における地元住民の調整件数	R1 0件	目標値	1	1	1	1	1	件以上	建設課
				実績値	1	1	1	1			
				評　価	○ 達成	○ 達成	○ 達成	○ 達成			
0203	国県への要望活動の推進	県事業の実施回数	R1 1回	目標値	1	1	1	1	1	回以上	建設課
				実績値	2	1	1	1			
				評　価	○ 達成	○ 達成	○ 達成	○ 達成			

年度評価

R3	0201 要望箇所における地元調整を行ったが、受益者の同意が得られず、指定に至らなかった。
	0202 要望箇所における地元調整を行った。
	0203 砂防事業として萩沢砂防事業が完了した。急傾斜地崩壊防止事業として、水落急傾斜地崩壊対策事業が継続中である。
R4	0201 要望箇所（見晴町）において、静岡県急傾斜地崩壊対策事業費補助金（指定促進）の要求を行った。 今後も砂防事業及び急傾斜事業について、広報及び周知等を行い、各事業の促進に努める。
	0202 砂防堰堤の浚渫事業にて、地元調整を行った。
	0203 急傾斜地崩壊防止事業として、水落急傾斜地崩壊対策事業が継続実施中である。
R5	0201 要望箇所（見晴町）において、静岡県急傾斜地崩壊対策事業費補助金（指定促進）の要求を行ったが、事業化決定には至らなかった。
	0202 砂防堰堤の浚渫事業にて、地元調整を行った。
	0203 急傾斜地崩壊防止事業として、水落急傾斜地崩壊対策事業が完了した。
R6	0201 要望箇所（吉田）について、静岡県急傾斜地崩壊対策事業費補助金（指定促進）の要求を行い、継続協議中である。
	0202 要望箇所（吉田）について、地元調整を行った。
	0203 急傾斜地崩壊防止事業として、吉田急傾斜地崩壊対策事業について継続協議中である。

03 風水害時危険箇所の周知

達成状況						
指標数	1	1	1	1	1	
達成数	1	1	1	1	0	
達成率	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	0.0%	

	主な内容	管理指標	基準値		R3	R4	R5	R6	R7	単位	担当課
0301	新たに土砂災害警戒区域に指定された地域住民へのハザードマップの作成及び配布並びに活用	新たに土砂災害警戒区域に指定された地域住民へのハザードマップの配布率	R1 100%	目標値	100	100	100	100	100	%	危機対策課
				実績値	100	100	100	100			
				評　価	○ 達成	○ 達成	○ 達成	○ 達成			

年度評価

R3	0301 土砂災害警戒区域の指定については令和元年度末で一旦完了し、ハザードマップが掲載された防災総合ガイドブックを令和２年度に作成し全戸配布を行った。それ以降新規の指定はなし。
R4	0301 土砂災害警戒区域の指定については令和元年度末で一旦完了し、ハザードマップが掲載された防災総合ガイドブックを令和２年度に作成し全戸配布を行った。それ以降新規の指定はなし。
R5	0301 土砂災害警戒区域の指定については令和元年度末で一旦完了し、ハザードマップが掲載された防災総合ガイドブックを令和２年度に作成し全戸配布を行った。それ以降新規の指定はなし。
R6	0301 土砂災害警戒区域の指定については令和元年度末で一旦完了したが、令和６年度に最新のハザードマップや各種防災情報を更新した伊東市総合防災ガイドブックを作成し、全戸配布を行った。

04　風水害を想定した訓練の実施

達成状況						
指標数	1	1	1	1	1	
達成数	0	1	1	1	0	
達成率	0.0%	100.0%	100.0%	100.0%	0.0%	

主な内容	管理指標	基準値		R3	R4	R5	R6	R7	単位	担当課
0401 水防・土砂災害訓練の実施	水防・土砂災害訓練の実施率	R1 100%	目標値	100	100	100	100	100	%	危機対策課
			実績値	0	100	100	100			
			評　価	× 未達成	○ 達成	○ 達成	○ 達成			

年度評価	
R3	0401 新型コロナウイルス感染症の影響により訓練を中止した。
R4	0401 十足区をメイン会場として土砂災害・水防訓練を実施した。令和５年度以降も土砂災害警戒区域のある行政区をメイン会場に選定し訓練を実施することで、住民の防災意識向上に努めていく。（令和５年度は宇佐美区を予定）
R5	0401 宇佐美区をメイン会場として土砂災害・水防訓練を実施した。令和６年度以降も土砂災害警戒区域のある行政区をメイン会場に選定し訓練を実施することで、住民の防災意識向上に努めていく。（令和６年度は対島地区を予定）
R6	0401 対島地区（八幡野区・赤沢区）をメイン会場として土砂災害・水防訓練を実施した。令和７年度以降も土砂災害警戒区域のある行政区をメイン会場に選定し訓練を実施することで、住民の防災意識向上に努めていく。（令和７年度は松原区を予定）

05　山林の機能保全の促進

達成状況						
指標数	3	3	3	3	3	
達成数	3	3	3	3	0	
達成率	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	0.0%	

主な内容	管理指標	基準値		R3	R4	R5	R6	R7	単位	担当課
0501 危険個所の把握	山林パトロール	R1 年1回	目標値	1	1	1	1	1	回以上	産業課
			実績値	1	1	1	1			
			評　価	○ 達成	○ 達成	○ 達成	○ 達成			
0502 事業における地元住民との調整	静岡県事業における地元住民との調整件数	R1 年１件	目標値	1	1	1	1	1	件以上	産業課
			実績値	1	1	1	1			
			評　価	○ 達成	○ 達成	○ 達成	○ 達成			
0503 国県への働きかけ	静岡県への要望件数	R1 年1件	目標値	1	1	1	1	1	件以上	産業課
			実績値	2	1	1	1			
			評　価	○ 達成	○ 達成	○ 達成	○ 達成			

年度評価	
R3	0501 市内の山林パトロールを実施し、崩落危険箇所の把握に努めた。
	0502 治山事業要望箇所について、地元住民と現地調査等を行った。
	0503 静岡県に治山事業の要望を行った。
R4	0501 市内の山林パトロールを実施し、崩落危険箇所の把握に努めた。
	0502 治山事業要望箇所について、地元住民と現地調査等を行った。
	0503 静岡県に治山事業の要望を行った。
R5	0501 市内の山林パトロールを実施し、崩落危険箇所の把握に努めた。
	0502 治山事業要望箇所について、地元住民と現地調査等を行った。
	0503 静岡県に治山事業の要望を行った。
R6	0501 市内の山林パトロールを実施し、崩落危険箇所の把握に努めた。
	0502 治山事業要望箇所について、地元住民と現地調査等を行った。
	0503 静岡県に治山事業の要望を行った。

担当課	危機対策課・水道課・下水道課・建設課・建築住宅課・産業課	施策1－3の全指標達成率					
政策目標 1	安全で安心して暮らせるまち	年度	R3	R4	R5	R6	R7
施策分野 3	災害に強い建築物や公共施設の整備	指標数	14	14	14	14	14
目指す姿	建築物の耐震性等の安全性が確保されている	達成数	6	7	9	7	0
		達成率	42.9%	50.0%	64.3%	50.0%	0.0%

1　成果指標（ＫＰＩ）

	R3	R4	R5	R6	R7
指標数	3	3	3	3	3
達成数	2	2	2	2	0
達成率	66.7%	66.7%	66.7%	66.7%	0.0%

成果指標1　市有建築物の耐震化率

基準値		R3	R4	R5	R6	R7	単位	担当課
R1 95.3%	目標値	100	100	100	100	100	%	危機対策課
	実績値	95.2	95.2	95.1	95.8			
	評　価	× 未達成	× 未達成	× 未達成	× 未達成			

目標値の考え方：「伊東市が所有する公共建築物の耐震化計画」に基づき、計画的な耐震化を進め、地震災害時における建物の倒壊等による人的被害を防ぐため、市有建築物の耐震化率を100%に設定した。

成果指標2　港湾施設の整備要望の実施箇所数（累計）

基準値		R3	R4	R5	R6	R7	単位	担当課
R2 2か所	目標値	2	4	6	8	10	か所以上	建設課
	実績値	4	5	6	8			
	評　価	○ 達成	○ 達成	○ 達成	○ 達成			

目標値の考え方：白石防波堤延伸事業を含めた伊東港における、港湾整備を港湾施設管理者（静岡県）に要望した実施箇所数を年間２箇所以上とする。

成果指標3　民間住宅の耐震化率

基準値		R3	R4	R5	R6	R7	単位	担当課
R1 83%	目標値	83.5	84	84.5	85	86	%以上	建築住宅課
	実績値	83.9	84.3	84.6	85.1			
	評　価	○ 達成	○ 達成	○ 達成	○ 達成			

目標値の考え方：平成25年から平成30年までの耐震化率を算出した結果、各年約0.5%の上昇が確認できたことから、引き続き年0.5%以上の耐震化率の向上を目標とし86%と目標値を設定した。

Ｒ３年度

1（実績評価）・数値の減少については、市営新山住宅２棟を用途廃止したことにより耐震化率を計算する際に生じた微差であり、現状に変化はない。
（次年度修正）・引き続き市有建築物の耐震化率100%を目標として計画を推進していく。

2（実績評価）・白石防波堤延伸、浮桟橋改良、小浦防波堤改良、第一防波堤改良（測量・設計）事業を行った。
（次年度修正）・引き続き、伊東港整備事業の推進について要望を継続していきたい。

3（実績評価）・耐震化率の実績値は、昭和５６年以前の木造住宅の補強工事に加えて解体工事が増加したことで目標値を上回った。
（次年度修正）・耐震補強の必要性や補助金の活用に対する啓発を継続して進めていくことで、民間住宅の耐震化率の向上を図る。

Ｒ４年度

1（実績評価）・令和４年度については市有建築物の状況に変化はなく前年度と同じ数値となっている。
（次年度修正）・引き続き市有建築物の耐震化率100%を目標として計画を推進していく。

2（実績評価）・白石防波堤延伸、浮桟橋改修、第一防波堤改良、小浦防波堤改良、湯川東離岸堤改良を行った。
（次年度修正）・引き続き、伊東港整備事業の推進について要望を継続していきたい。

3（実績評価）・耐震化率の実績値は、昭和５６年以前の木造住宅の補強工事に加えて解体工事が増加したことで目標値を上回った。
（次年度修正）・耐震補強の必要性や補助金の活用に対する啓発を継続して進めていくことで、民間住宅の耐震化率の向上を図る。

Ｒ５年度

1（実績評価）・数値の減少については、スカイポート亀石の解体完了により、耐震化率を計算する際に生じた微差であり、現状に変化はないものである。
（次年度修正）・引き続き、市有建築物の耐震化100%を目標として関係各課と連携、情報共有を行っていく。

2（実績評価）・浮桟橋改修、第一防波堤改良、宮町船揚場改修を行った。
（次年度修正）・引き続き、伊東港整備事業の推進について要望を継続していく。

3（実績評価）・昭和５６年以前の木造住宅の補強工事に加えて、除却工事も増加している傾向にあり、目標値を上回ることができた。
（次年度修正）・耐震補強の必要性や補助金の活用に対する啓発を継続し、戸別訪問を積極的に進めていくことで、民間住宅の耐震化率の向上を図る。

Ｒ６年度

1（実績評価）・下水道課の玖須美中継ポンプ場の耐震化工事完了及び北中学校旧校舎２棟（耐震性無し）解体完了により耐震化率が上昇した。
（次年度修正）・引き続き、市有建築物の耐震化100%を目標として関係各課と連携、情報共有を行っていく。

2（実績評価）・令和６年度までに白石防波堤改良・防護柵補修、浮桟橋改修、第一防波堤改良、小浦防波堤・物揚場改良、川奈臨港道路・港湾施設改良を行った。
（次年度修正）・引き続き、伊東港整備事業の推進について要望を継続していく。

3（実績評価）・昭和５６年以前の木造住宅の補強工事に加えて、除却工事も増加している傾向にあり、目標値を上回ることができた。
（次年度修正）・耐震補強の必要性や補助金の活用に対する啓発を継続し、戸別訪問を積極的に進めていくことで、民間住宅の耐震化率の向上を図る。

2　基本的な取組（2桁コード）・主な内容（4桁コード）

		指標数	11	11	11	11	11	※ 基本的な取組・主な内容の達成状況
		達成数	4	5	7	5	0	
		達成率	36.4%	45.5%	63.6%	45.5%	0.0%	
01	旧耐震基準市有建築物の耐震化計画の充実・耐震化整備推進	達成状況	指標数	3	3	3	3	3
			達成数	0	0	0	0	0
			達成率	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

主な内容	管理指標	基準値		R3	R4	R5	R6	R7	単位	担当課
0101 旧耐震基準の市有建築物耐震化の具体的な進め方の検討・決定	未耐震化市有建築物（12棟）の耐震化実施方法の決定率	R1 0%	目標値	20.0	30.0	40.0	50.0	60.0	% 以上	危機対策課
			実績値	0	0	0	8.3			
			評　価	× 未達成	× 未達成	× 未達成	× 未達成			
0102 耐震診断の実施	市有建築物の耐震診断の実施率（未診断　26棟）	R1 86%	目標値	100	100	100	100	100	%	危機対策課
			実績値	86.0	86.0	86.0	86.0			
			評　価	× 未達成	× 未達成	× 未達成	× 未達成			
0103 継続活用する旧耐震基準市有建築物の耐震補強及び建て替えの実施	旧耐震基準市有建築物の耐震補強及び建て替え等の実施率（12棟）	R1 0%	目標値	10.0	20.0	30.0	40.0	50.0	% 以上	危機対策課
			実績値	0	0	0	8.3			
			評　価	× 未達成	× 未達成	× 未達成	× 未達成			

年度評価

R3

0101
0102
0103
市有物件の耐震化診断及び補強、建替え等の実施については、建物の所管課の判断となっている。耐震診断及び補強、建替え等の事業予算の３分の１が補助される県の「地震津波対策等減災交付金」の活用を各課に案内しているが、事業費が大きく、策定した「伊東市が所有する公共建築物の耐震化計画」のとおりには進捗していない状況である。今後についても、引き続き交付金の活用を各課へ促し、各指標の目標値の達成を目指していく。

R4

0101
0102
0103
市有物件の耐震化診断及び補強、建て替え等の実施については、建物の所管課の判断となっている。耐震診断及び補強、建て替え等の事業予算の３分の１が補助される県の「地震・津波対策等減災交付金」の活用を各課に案内しているが、事業費が大きく、策定した「伊東市が所有する公共建築物の耐震化計画」のとおりに進捗していない状況である。今後についても、引き続き交付金の活用を各課へ促し、各指標の目標値の達成を目指していく。

R5

0101
0102
0103
市有物件の耐震化診断及び補強、建て替え等の実施については、建物の所管課の判断となっている。耐震診断及び補強、建て替え等の事業予算の３分の１が補助される県の「地震・津波対策等減災交付金」の活用を各課に案内しているが、事業費が大きく、進捗が進んでいない状況である。今後についても、引き続き交付金の案内を関係各課に行うとともに各課とも情報共有を行い、各指標の目標値の達成を目指していく。

R6

0101 令和６年度に「玖須美中継ポンプ場」の耐震改修が完了したことにより、１棟分増加となった。引き続き交付金の案内を関係各課に行うとともに各課とも情報共有を行い、目標値の達成を目指していく。

0102 市有建築物の耐震化診断、補強及び建て替え等の実施については、建物の所管課の判断となっている。引き続き交付金の案内を関係各課に行うとともに情報共有を行い、目標値の達成を目指していく。

0103 令和６年度に「玖須美中継ポンプ場」の耐震改修が完了したことにより、１棟分増加となった。引き続き交付金の案内を関係各課に行うとともに各課とも情報共有を行い、目標値の達成を目指していく。

02 緊急避難路や輸送路の確保のための港湾整備の推進

達成状況						
指標数	3	3	3	3	3	
達成数	3	2	2	2	0	
達成率	100.0%	66.7%	66.7%	66.7%	0.0%	

主な内容	管理指標	基準値		R3	R4	R5	R6	R7	単位	担当課
0201 白石防波堤延伸事業	年度別進捗率	R1 40%	目標値	50.0	62.5	75.0	87.5	100	% 以上	建設課
			実績値	50.0	50.0	50.0	50.0			
			評　価	○　達成	×　未達成	×　未達成	×　未達成			
0202 港湾施設改修事業	改修箇所数	R1 2箇所	目標値	2	2	2	2	2	箇所 以上	建設課
			実績値	2	4	3	5			
			評　価	○　達成	○　達成	○　達成	○　達成			
0203 港湾整備のための国・県への働きかけ	要望等回数	R1 1回	目標値	1	1	1	1	1	回 以上	建設課
			実績値	1	1	1	1			
			評　価	○　達成	○　達成	○　達成	○　達成			

年度評価

R3	0201 全体計画L=66m（ケーソンN=4函）のうち、L=33m（ケーソンN=2函）が完了した。
	0202 小浦防波堤（川奈地区）改良及び第一防波堤（新井地区）測量・設計を行った。
	0203 伊東港湾整備事業の推進として、白石防波堤延伸事業の早期完成及び観光浮桟橋等の高波対策の強化についての要望を行った。
R4	0201 全体計画L=66m（ケーソンN=4函）のうち、L=33m（ケーソンN=2函）が完了した（繰越事業）。今後も早期完成に向け要望を行っていく。
	0202 浮桟橋改修、第一防波堤改良、小浦防波堤改良、湯川東離岸堤改良を行った。
	0203 伊東港湾整備事業の推進として、白石防波堤延伸事業の早期完成、観光浮桟橋及び港湾施設の高波対策の強化についての要望を行った。
R5	0201 全体計画L=66m（ケーソンN=4函）のうち、L=33m（ケーソンN=2函）が完了したが、今後も早期完成に向け要望を行っていく。
	0202 浮桟橋改修、第一防波堤改良、宮町船揚場改修を行った。
	0203 伊東港湾整備事業の推進として、白石防波堤延伸事業の早期完成、観光浮桟橋及び港湾施設の高波対策の強化についての要望を行った。
R6	0301 全体計画L=66m（ケーソンN=4函）のうち、L=33m（ケーソンN=2函）が完了したが、引き続き早期完成に向け要望を行い、令和10年度の完成を目指す。
	0302 川奈臨港道路・港湾施設、小浦防波堤・物揚場改良、浮桟橋補修を行った。
	0303 伊東港湾整備事業の推進として、白石防波堤延伸事業の早期完成及び港湾施設の高波対策の強化等についての要望を行った。

03 漁港機能維持のための整備推進

達成状況						
指標数	1	1	1	1	1	
達成数	0	0	1	0	0	
達成率	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	

主な内容	管理指標	基準値		R3	R4	R5	R6	R7	単位	担当課
0301 機能保全計画に基づく施設維持管理の実施	老朽化施設の整備件数	R2 1件	目標値	－	－	－	－	1	件 以上	産業課
			実績値	0	0	1	0			
			評　価	－	－	○　達成	－			

年度評価

R3	0301 漁港施設の整備については、予算の確保等が厳しいため、実施に至らなかったが、補助金の活用などを視野に入れながら、計画的な維持管理に努めていく。
R4	0301 漁港施設の整備については、予算の確保等が厳しいため、実施に至らなかったが、補助金の活用などを視野に入れながら、計画的な維持管理に努めていく。
R5	0301 令和５年度については、漁港機能増進事業補助金を活用して、八幡野漁港湾内道路の橋りょう改良工事をすることができたことから、目標を達成することができた。今後も、計画的な維持管理に努めていく。
R6	0301 漁港施設の整備については、予算の確保等が厳しいため、実施に至らなかったが、補助金の活用などを視野に入れながら、計画的な維持管理に努めていく。

04 上下水道管路更新（耐震化）事業の推進

達成状況							
指標数	2	2	2	2	2		
達成数	1	1	2	1	0		
達成率	50.0%	50.0%	100.0%	50.0%	0.0%		

主な内容		管理指標	基準値		R3	R4	R5	R6	R7	単位	担当課
0401	効率的な管路の更新事業の実施	更新距離数	R2 1.0km/年	目標値	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	km/年以上	水道課
				実績値	0.7	1.3	3.3	2.0			
				評　価	× 未達成	× 未達成	○ 達成	○ 達成			
			R2 0.20km/年	目標値	0.25	0.25	0.25	0.25	0.25	km/年以上	下水道課
				実績値	0.42	0.42	0.45	0.18			
				評　価	○ 達成	○ 達成	○ 達成	× 未達成			

年度評価

R3	0401	水道管材等に使用されている塗料に承認不正が発覚し、全国的に水道資材が一時出荷見合わせとなり、発注済工事の年度内完成が困難となった。【水道課】 伊東市下水道ストックマネジメント計画に基づき管きょの耐震性も備えた改築工事を行っており、また、当該計画外でも調査等で緊急度が高い管きょは随時改築を行っていることから、令和3年度においては目標値よりも実績値が上回る結果となった。【下水道課】
R4	0401	施工箇所において、既設埋設管（下水道・ガス・温泉）が混在しており、配水管埋設スペースが限られたことにより工事進捗に遅れが生じ、年度内完成が困難となった。令和５年度は上記問題の影響が少ない施工箇所であるため、実績値は増となる見込みである。【水道課】 伊東市下水道ストックマネジメント計画に基づき管きょの耐震性も備えた改築工事を行っており、また、当該計画外でも調査等で緊急度が高い管きょは随時改築を行っていることから、令和４年度においては目標値よりも実績値が上回る結果となった。【下水道課】
R5	0401	前年度までは、既設埋設管等の影響により年度内完成が困難となり、繰越工事が起因して目標値に至らなかったが、令和５年度は繰越工事が無く計画どおり工事完了したことや、繰越工事分の延長が加算され実績値が目標値を大きく上回った。【水道課】 伊東市下水道ストックマネジメント計画に基づき管きょの耐震性も備えた改築工事を行っており、また、当該計画外でも調査等で判明した緊急度が高い管きょは随時改築を行っていることから、令和５年度においては目標値よりも実績値が上回る結果となった。【下水道課】
R6	0401	繰越工事が無く計画どおり工事完了したため目標値を上回った。引き続き効率的な管路の更新事業を実施していく。【水道課】 伊東市下水道ストックマネジメント計画に基づき管きょの耐震性も備えた改築工事を行っており、当該計画外でも調査等で判明した緊急度が高い管きょは随時改築を実施している。令和6年度においては、国へ要望した交付金が削減されたこともあり、計画した事業の実施を見送ったため、目標を達成できなかった。今後は予算要望等で県に事業の重要性について理解を求めていく。【下水道課】

05 既存木造住宅の無料耐震診断及び耐震補強工事の推進

達成状況							
指標数	2	2	2	2	2		
達成数	0	2	2	2	0		
達成率	0.0%	100.0%	100.0%	100.0%	0.0%		

主な内容		管理指標	基準値		R3	R4	R5	R6	R7	単位	担当課
0501	昭和56年５月以前に建築された木造住宅を対象とした「耐震性向上の必要性」の啓発	個別訪問の実施回数	R2 1回	目標値	3	3	3	3	3	回以上	建築住宅課
				実績値	1	8	28	9			
				評　価	× 未達成	○ 達成	○ 達成	○ 達成			
0502	補助制度を活用した無料耐震診断及び耐震補強工事の推進	耐震診断件数及び補強工事件数	R2 50件	目標値	50	50	50	50	50	件以上	建築住宅課
				実績値	41	125	77	121			
				評　価	× 未達成	○ 達成	○ 達成	○ 達成			

年度評価

R3	0501	コロナ禍の緊急事態宣言等により、計画通りに個別訪問に回れず目標回数を上回ることができなかった。令和４年度はタイミングを見逃すことなく個別訪問に回り、コロナ禍においては電話での啓発も行っていく。
	0502	コロナ禍により個別訪問の啓発活動が減ったことで、耐震診断の件数が大きく減少し目標件数を上回ることができなかった。令和４年度は耐震診断件数を増やすことを心掛け、補強工事につながる効果を図る。
R4	0501	コロナ禍の中、計画通りに個別訪問を実施し、目標回数を上回ることができた。 引き続き個別訪問を行い、啓発を図る。
	0502	昨年度の対応を踏まえ、DMの送付による周知に努め、さらに個別訪問の実施も行ったことで耐震診断の件数が上回り目標件数を大きく上回ることができた。引き続き周知に努め、継続的な目標値の達成を図る。
R5	0501	コロナ禍が明けたことで、当初の計画以上の個別訪問を計画し、目標回数を大幅に上回ることができた。引き続き個別訪問を行い、啓発を図る。
	0502	戸別訪問の回数を増やしたことで、目標値を上回り、更に、１月の能登半島地震による問合せが増えた結果、次年度の耐震診断の予約にもつながっている。
R6	0501	当初の計画より上回る個別訪問を計画したことで、目標回数を上回ることができた。引き続き個別訪問を行い、啓発を図る。
	0502	戸別訪問の回数を増やしたことや近年日本列島で地震が頻繁に発生していることの影響から市民の関心が高まり、令和７年度の耐震診断の予約にもつながっている。

担当課		危機対策課・市民課	施策1－4の全指標達成率					
政策目標	1	安全で安心して暮らせるまち	年度	R3	R4	R5	R6	R7
施策分野	4	生活安全の推進	指標数	16	16	16	16	16
目指す姿		市民等が交通事故や犯罪が少なく、安心して暮らすことができる	達成数	8	11	10	10	0
			達成率	50.0%	68.8%	62.5%	62.5%	0.0%

1　成果指標（ＫＰＩ）

	R3	R4	R5	R6	R7
指標数	2	2	2	2	2
達成数	2	2	2	2	0
達成率	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	0.0%

成果指標1	市内における刑法犯認知件数（暦年）	基準値		R3	R4	R5	R6	R7	単位	担当課
		R1	目標値	310	300	290	280	270	件	危機対策課
		324件	実績値	245	293	257	241			
			評　価	○　達成	○　達成	○　達成	○　達成		以下	
目標値の考え方	市内における刑法犯認知件数は、令和元年実績324件であり、過去10年において、54.4%と大幅に減少している。しかし、各年における減少率には差があるため、直近３年間の平均減少率を計算し、各年3%程度減少を見込む中で、令和７年270件とした。									

成果指標2	市内における人身交通事故発生件数（暦年）	基準値		R3	R4	R5	R6	R7	単位	担当課
		R1	目標値	330	310	290	275	260	件	危機対策課
		367件	実績値	270	267	239	225			
			評　価	○　達成	○　達成	○　達成	○　達成		以下	
目標値の考え方	市内における人身交通事故発生件数は、令和元年実績367件であり、過去10年において、37.3%と減少している。しかし、各年における減少率には差があるため、直近５年間の平均減少率を計算し、各年5.3%程度減少を見込む中で、令和７年260件とした。									

R3年度	1（実績評価）	・目標値を十分達成できており、前年比ベースでも１３件減少となった。コロナ禍における感染防止のため、啓発活動を自粛することはあったが、市民と接触しない活動（青パト活動等）等、地道な活動が結果につながった。
	（次年度修正点）	・新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、今後も啓発活動は制約されると思われるため、メルマガ等を利用した防犯啓発活動をより重視し、密にならない活動を通じて、更なる目標の達成に努めていく。
	2（実績評価）	・目標値を十分達成できており、諸般の交通安全啓発活動が実績につながっていると推察できる。
	（次年度修正点）	・今後についても、当該実績値を維持できるよう基本的には現状の活動を踏襲しつつ、新しい活動を取り入れていく。
R4年度	1（実績評価）	・前年度と比較し、件数が増加したが目標は達成している。
	（次年度修正点）	・これまで新型コロナウイルス感染症の感染防止のため、啓発活動に一定の制約があったが、令和５年度からは制約が無くなるため、より啓発活動に注力し、目標の達成とともに前年比減を目指していく。
	2（実績評価）	・目標を十分に達成できており、諸般の交通安全啓発活動が実績に繋がっている。
	（次年度修正点）	・今後についても、継続して目標達成となるよう基本的には現状の活動を踏襲し、新しい活動内容についても検討していく。
R5年度	1（実績評価）	・目標を十分達成できており、啓発活動等の地道な活動が実績につながっている。
	（次年度修正点）	・目標の達成とともに前年比減を目指し、引き続き啓発活動に注力していく。
	2（実績評価）	・目標を十分達成できており、関係機関と連携した交通安全啓発活動が実績につながっている。
	（次年度修正点）	・継続して目標達成となるよう、現状の交通安全啓発活動に注力していく。
R6年度	1（実績評価）	・目標を十分達成できており、犯罪被害防止の啓発活動等の地道な活動が実績につながっている。
	（次年度修正点）	・目標の達成とともに前年比減を目指し、継続的に啓発活動に注力していく。
	2（実績評価）	・目標を十分達成できており、関係機関と連携した交通安全啓発活動が実績につながっている。
	（次年度修正点）	・継続して目標達成となるよう、現状の交通安全啓発活動に注力していく。

２　基本的な取組（２桁コード）・主な内容（４桁コード）									※ 基本的な取組・主な内容の達成状況
			指標数	14	14	14	14	14	
			達成数	6	9	8	8	0	
			達成率	42.9%	64.3%	57.1%	57.1%	0.0%	
０１	特殊詐欺に対する社会的認知度の向上	達成状況	指標数	2	2	2	2	2	
			達成数	0	2	2	1	0	
			達成率	0.0%	100.0%	100.0%	50.0%	0.0%	

主な内容		管理指標	基準値		R3	R4	R5	R6	R7	単位	担当課
０１０１	防犯用電話自動応答録音機の貸出情報の発信	防犯用電話自動応答録音機の貸出台数	― ※2	目標値	10	15	20	25	30	台以上	危機対策課
				実績値	3	20	27	28			
				評　価	× 未達成	○ 達成	○ 達成	○ 達成			
０１０２	年金支給日におけるオレオレ詐欺撲滅キャンペーンの推進	オレオレ詐欺撲滅キャンペーンの開催回数	R1 12回	目標値	12	12	12	12	12	回以上	危機対策課
				実績値	11	12	12	9			
				評　価	× 未達成	○ 達成	○ 達成	× 未達成			

年度評価		
R３	０１０１	市内における特殊詐欺被害件数は減少しているものの、被害額は増加しており、自動応答録音機の貸出を必要とする市民に必要な情報が届いていないために、目標値を大幅に下回ってしまった。次年度以降はメルマガ等を利用して、情報発信を強化していく。
	０１０２	定例の撲滅キャンペーンを毎月各金融機関前で実施したが、まん延防止等重点措置の対象期間となった８月については、実施を見合わせたため、目標達成とならなかった。今後についても、新型コロナウイルス感染症の感染状況を注視し、関係機関と連携して毎月開催を目指していく。
R４	０１０１	令和４年度については目標値を上回る累計２０台の貸し出しとなった。増え続ける特殊詐欺の被害を未然に防ぐため、令和５年度以降も目標値達成を目指し、必要な家庭への貸出につながるよう周知を図っていく。
	０１０２	ATMが設置されているショッピングモールや銀行等で、オレオレ詐欺撲滅のチラシや啓発グッズの配布を毎月行った。令和５年度以降も開催回数の目標値達成を目指すとともに、実施日についても年金支給日等の効果的な日程での実施を心掛けていく。
R５	０１０１	令和5年度についても目標値を上回っているが、依然としてサギ電話が多く発生していることから、引き続き警察等と連携した活動により、必要な家庭への貸出につなげ、目標達成を目指していく。
	０１０２	金融機関、スーパー、ショッピングモール等において、オレオレ詐欺被害防止啓発活動を年金支給日等の効果的な日程で実施することができた。引き続き防犯協会等と連携し、目標達成に向けた啓発活動を実施していく。
R６	０１０１	目標は達成しているものの、当該機器の貸出数が前年度から１件しか増加していないため、多様化する特殊詐欺被害を未然に防ぐためにも、引き続き警察等と連携した啓発活動を通じて、当該機器の貸出について周知を図っていく。
	０１０２	金融機関、スーパー、ショッピングモール等において、オレオレ詐欺被害防止啓発活動を実施したが、実施回数の見直し等を行い、年６回の年金支給日を重点に活動したため、目標達成とならなかった。引き続き防犯協会等と連携を図り、年間を通じて啓発活動を実施していく。

※2　令和２年度からの新たな取組であり、実績未確定のため基準値を―とした。

02　犯罪のない環境づくりの促進

達成状況						
指標数	4	4	4	4	4	
達成数	1	2	1	2	0	
達成率	25.0%	50.0%	25.0%	50.0%	0.0%	

	主な内容	管理指標	基準値		R3	R4	R5	R6	R7	単位	担当課
0201	青色防犯パトロールの充実	青色防犯合同パトロール実施回数	R1 12回	目標値	13	14	15	16	17	回以上	危機対策課
				実績値	11	12	10	8			
				評　価	×　未達成	×　未達成	×　未達成	×　未達成			
0202	不審者対応訓練等の訓練補助	不審者対応訓練の実施回数	R1 1回	目標値	1	1	1	1	1	回以上	危機対策課
				実績値	0	1	0	0			
				評　価	×　未達成	○　達成	×　未達成	×　未達成			
0203	メルマガ等による定期的な情報発信	防犯啓発に関するメールマガジンの発信回数	― ※3	目標値	4	4	4	4	4	回以上	危機対策課
				実績値	0	2	0	22			
				評　価	×　未達成	×　未達成	×　未達成	○　達成			
0204	犯罪不安０運動期間中の防犯啓発事業の充実	安全・安心フェアの市民来場者数	― ※4	目標値	100	150	200	250	300	人以上	危機対策課
				実績値	150	200	200	250			
				評　価	○　達成	○　達成	○　達成	○　達成			

年度評価

R3	0201	伊東市生活安全推進協議会の加盟団体である地域安全推進員が中心となって実施している。まん延防止等重点措置の対象期間となった８月については、実施を見合わせたため、目標達成とならなかったが、今後については、参加人数を増やすなど、次年度以降もより規模を大きくして実施できるよう努めていく。
	0202	新型コロナウイルス感染症の影響により、訓練を中止したため目標達成とならなかった。次年度は、感染症の状況を注視する中で、警察等と調整を図り実施できるよう努めていく。
	0203	市内における不審電話等の状況により、不定期での発信は行ったが、定期的な情報発信は未実施であった。今後については、警察等の関係機関と協議する中で、定期的な防犯に関する情報発信を企画していく。
	0204	新型コロナウイルス感染症の影響により令和３年度は展示のみの開催となったが、ショッピングモールでの開催のため集客効果が高く目標達成となった。今後については、感染症の状況を注視する中で、本来の形での開催を目指し関連団体と検討していく。
R4	0201	令和４年度については毎月１回の計１２回実施した。令和５年度以降については、毎月１回の実施に加え、別に実施する啓発運動やキャンペーン等の開催時にも実施を検討し、目標値の達成を目指していく。
	0202	警察が事業者を対象に実施する不審者対応訓練の補助的な役割として参加し、事業者の対応技術の習得及び向上を図っていく。（令和４年度はコンビニ強盗の対応訓練）
	0203	令和４年度については、防犯用電話自動応答録音機の貸出及び県警が新しく開発したアプリ「どこでもポリス」の周知のためのメールマガジンの配信を行った。令和５年度については、市民に必要な防犯情報を届けるため、配信内容を精査する中で目標回数の達成も目指していく。
	0204	令和４年度からは、それまで新型コロナウイルス感染症の影響により展示のみとしていたフェアの内容を従前の内容に戻して実施し、目標値を上回る来場者数となった。今後についても、より多くの市民に来場いただけるよう内容を精査し、周知を図っていく。
R5	0201	令和５年度については、毎月１回（８月・３月を除く）の計１０回実施した。令和６年度以降については、毎月１回の実施に加え、別に実施する啓発運動やキャンペーン等の開催時にも実施を検討し、目標値の達成を目指していく。
	0202	令和５年度については、警察が実施する不審者対応訓練に参加することができなかったため、令和６年度については、警察等と調整を図り実施できるよう努めていく。
	0203	令和５年度については、メールマガジンを活用した防犯啓発を実施しなかったが、令和６年度については、市民に必要な防犯情報を届けるため、警察等の関係機関と防犯に関する情報発信を企画し、目標回数の達成を目指していく。
	0204	令和５年度についても、前年と同程度の規模で実施することで目標値を上回った。今後についても、より多くの市民に来場いただけるよう内容を精査し、周知を図っていく。
R6	0201	令和６年度については、計８回の実施に留まり目標達成とならなかった。令和７年度については、防犯協会等と連携し毎月一回の実施を徹底するとともに、別に実施する啓発運動やキャンペーン等の開催時にも実施を検討し、目標値の達成を目指していく。
	0202	令和６年度についても、日程が合わず警察が実施する不審者対応訓練に参加することができなかった。令和７年度については、警察と十分に調整を図り参加できるよう努めていく。
	0203	令和６年度については、メールマガジンや同報無線を活用し、手口が多様化する特殊詐欺被害に遭わないよう、県内（市内）で同様の事案が発生した際には、積極的な広報をすることで防犯啓発を実施した。令和7年度も引き続き情報発信を行っていく。
	0204	令和６年度については、動線を考慮し屋内にも会場を設けたことで前年を上回る集客となり、目標を達成した。今後についても、より多くの市民に来場いただけるよう内容を精査し、周知を図っていく。

※3　令和３年度からの新たな取組のため基準値を―とした。
※4　令和元年度は、台風の影響により中止。令和２年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、展示のみ実施し来場者数をカウントしていないため、基準値を―とした。

03　歩行者の安全確保

達成状況						
指標数	4	4	4	4	4	
達成数	2	2	2	2	0	
達成率	50.0%	50.0%	50.0%	50.0%	0.0%	

主な内容	管理指標	基準値		R3	R4	R5	R6	R7	単位	担当課
0301 交通指導員による交通指導	市内小学校への配置率	R1 70%	目標値	100	100	100	100	100	%	危機対策課
			実績値	66.0	78.0	86.0	71.4			
			評　価	× 未達成	× 未達成	× 未達成	× 未達成			
0302 交通安全指導員による交通指導	交通安全教室等の交通安全指導の実施回数	R1 194回	目標値	200	200	200	200	200	回以上	危機対策課
			実績値	165	188	184	196			
			評　価	× 未達成	× 未達成	× 未達成	× 未達成			
0303 ピカッと作戦の推進	ピカッと作戦事業の実施回数	R1 1回	目標値	1	1	1	1	1	回以上	危機対策課
			実績値	1	1	1	1			
			評　価	○ 達成	○ 達成	○ 達成	○ 達成			
0304 通学路点検事業の補助	通学路点検事業の実施回数	R1 1回	目標値	1	1	1	1	1	回以上	危機対策課
			実績値	1	1	1	1			
			評　価	○ 達成	○ 達成	○ 達成	○ 達成			

年度評価

R3

- 0301 現在９小学校中６小学校への配置となっている。交通指導員については、慢性的な人員不足となっているため、今後については、人員募集のチラシを作成し配布する等で告知し、人員不足の解消に努めていく。（未配置：東小・西小・池小）
- 0302 新型コロナウイルス感染症の影響により、教室を中止するケースが相次ぎ目標達成とならなかったが、代替えとして交通安全の知識を深めるためのDVDを作成し、幼稚園等に配布した。今後についても、状況に応じた交通安全指導を実施していく。
- 0303 年末の交通安全県民運動において、反射材を配布するなど啓発活動を実施したため目標達成できた。次年度も工夫して実施していきたい。
- 0304 各小学校、幼稚園、保育園から点検の要望のあった、通学路及び園児等の移動経路について３日間をかけ危険箇所の点検を実施した。今後についても、しっかりと各学校及び園からの意見を聴取し、危険箇所の点検に努めていく。

R4

- 0301 令和４年度については、市内９小学校中７小学校に交通指導員を配置した。小学校統廃合により令和５年度からは７小学校となる。引き続き全ての小学校への配置を目指していく。
- 0302 交通指導については、新型コロナウイルス感染症の影響で思うように開催できない時期が続いていたが、令和４年度も目標値の達成には至らなかったものの実施回数は増となっている。令和５年度以降は、目標回数を達成できるよう交通安全指導員との更なる連携を図っていく。
- 0303 冬季における早めのライト点灯を呼びかける本事業については、年末の交通安全県民運動において、反射材を配布するなど啓発活動を実施したため目標達成とした。次年度以降も交通事故件数の減少に寄与するよう、工夫した事業実施を継続していく。
- 0304 各小学校、幼稚園、保育園から点検の要望のあった、通学路及び園児等の移動経路について２日間をかけ危険箇所の点検を実施した。今後についても、各学校及び園からの意見を聴取し、危険箇所の点検に努めていく。

R5

- 0301 令和５年度については、市内７小学校中６小学校に交通指導員を配置した。交通指導員は２人増員となり１０人体制となったが未配置（池小）の解消には至っていないため、引き続き人員不足の解消に努めるとともに、全ての小学校への配置を目指していく。
- 0302 交通安全指導については、令和５年度についても目標の達成には至らなかったが、昨年並みの実施回数となっている。目標回数を達成できるよう交通安全指導員との更なる連携を図っていく。
- 0303 年末の交通安全県民運動において、反射材を配布するなど啓発活動を実施したため目標達成とした。次年度以降も効果的な啓発活動ができるよう工夫した事業の実施を検討し、交通事故防止を図っていく。
- 0304 各小学校、幼稚園、保育園から点検要望があった通学路及び園児等の移動経路について、２日間をかけ危険箇所の点検を実施した。今後についても、各学校及び園からの意見を聴取し、危険箇所の点検に努めていく。

R6

- 0301 市内７小学校中６小学校に配置されていたが、交通指導員の解職により５小学校の配置となった。交通指導員の高齢化も進んでいることから、今後も交通指導員が解職となることが予想される。今後は、新規交通指導員を確保していく必要があることから、募集チラシの配布やポスターの掲示など、交通指導員の増加につながる効果的な募集方法の検討を進めていく。
- 0302 交通安全指導については、令和６年度も目標達成には至らなかったが、昨年を上回る実施回数となっている。目標達成に向け、交通安全指導員との更なる連携を図っていく。
- 0303 年末の交通安全県民運動において、夕暮れ時の街頭指導を通して反射材を配布するなど啓発活動を実施したため目標達成とした。次年度以降も効果的な啓発活動ができるよう工夫した事業の実施を検討し、交通事故防止を図っていく。
- 0304 各小学校、幼稚園、保育園から点検要望があった通学路及び園児等の移動経路について、計５か所の危険箇所の点検を実施した。今後についても、各学校及び園からの意見を聴取し、危険箇所の点検に努めていく。

04	交通事故を発生させない環境づくり	達成状況	指標数	2	2	2	2	2		
			達成数	1	1	1	1	0		
			達成率	50.0%	50.0%	50.0%	50.0%	0.0%		
主な内容	管理指標	基準値		R3	R4	R5	R6	R7	単位	担当課
0401 高齢者運転免許証自主返納支援事業の促進	高齢者運転免許証自主返納者数	R1 367人	目標値	440	450	460	470	480	人以上	危機対策課
			実績値	331	268	277	274			
			評　価	× 未達成	× 未達成	× 未達成	× 未達成			
0402 四季の交通安全運動における交通安全啓発事業の充実	四季の交通安全運動期間中における交通安全啓発に関するメールマガジンの発信回数	―※5	目標値	4	4	4	4	4	回以上	危機対策課
			実績値	4	4	4	4			
			評　価	○ 達成	○ 達成	○ 達成	○ 達成			

年度評価		
R3	0401	免許返納後の代替の移動手段の確立等、危機対策課では対応できない課題もあり目標達成とはならなかった。今後についても、メルマガ等を通じた情報発信を継続し、高齢者の自主返納を促していく。
	0402	季節ごとに実施する交通安全運動の初日に、市の広報及びメールマガジンで交通安全啓発に関する情報を発信した。今後についても、同様に実施していく。
R4	0401	本市では、免許証返納者に対し運転経歴証明書の発行手数料を補助しており、静岡県警では運転免許自主返納者等サポート事業として、自主返納者に多様なインセンティブを付与する事業を実施しているが、返納者数は減となった。今後については、情報発信を引き続き継続していく中で、補助やサポート事業についても広く周知し、高齢者の自主返納を促していく。
	0402	季節ごとに実施する交通安全運動の初日に、市の広報及びメールマガジンで交通安全啓発に関する情報を発信した。今後についても、同様に実施していく。
R5	0401	免許返納後の代替の移動手段の確立等、危機対策課では対応できない課題もあり目標達成とはならなかった。今後についても、情報発信を引き続き継続していく中で、補助やサポート事業についても広く周知し、高齢者の自主返納を促していく。
	0402	季節ごとに実施する交通安全運動の初日に、市の広報及びSNSを活用し、交通安全啓発に関する情報を発信した。今後についても、同様に実施していく。
R6	0401	近年、自主返納者数、高齢者の免許所持者数ともに横ばい傾向にあるが、高齢運転者の交通事故を減少させるためには、高齢者の免許所持者数を減少させる必要があることから、今後についても、メルマガ等を通じた情報発信を継続し、高齢者の自主返納を促していく。
	0402	季節ごとに実施する交通安全運動の初日に、市の広報及びSNSを活用し、交通安全啓発に関する情報を発信した。今後についても、同様に実施していく。

※5　令和３年度からの新たな取組のため基準値を―とした。

05	消費者被害防止対策及び正しい消費行動の推進	達成状況	指標数	2	2	2	2	2		
			達成数	2	2	2	2	0		
			達成率	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	0.0%		
主な内容	管理指標	基準値		R3	R4	R5	R6	R7	単位	担当課
0501 消費生活相談の強化	研修会の受講回数	R1 14回	目標値	18	18	18	18	18	回以上	市民課
			実績値	28	22	29	26			
			評　価	○ 達成	○ 達成	○ 達成	○ 達成			
0502 消費生活特別講座の開催等の啓発活動の充実	啓発活動の実施回数	R1 50回	目標値	52	54	56	58	60	回以上	市民課
			実績値	53	58	73	100			
			評　価	○ 達成	○ 達成	○ 達成	○ 達成			

年度評価		
R3	0501	新型コロナウイルス感染症拡大により、オンラインで開催される研修が増え、それらを利用することで目標を達成できた。悪質・巧妙化していく消費者トラブルの解決のため、今後も積極的に研修を受講していく。
	0502	消費者被害防止のため、市民を対象とした消費生活特別講座、街頭啓発、メールマガジン配信、広報いとうでの啓発を行った。今後も継続的に啓発活動を実施していく。
R4	0501	オンラインで開催される研修会へ積極的に参加し目標を達成できた。悪質・巧妙化していく消費者トラブルの解決のため、今後も積極的に研修を受講していく。
	0502	消費者被害防止のため、市民を対象とした消費生活特別講座、街頭啓発、メールマガジン配信、広報いとう、市ホームページでの啓発を行った。今後も継続的に啓発活動を実施していく。
R5	0501	集合研修、オンライン研修等に積極的に参加し目標を達成できた。ますます高度化、複雑化する消費者トラブルの解決のため、今後も積極的に研修を受講していく。
	0502	消費者被害防止のため、市民を対象とした消費生活講座、街頭啓発、SNSによる配信、広報いとう、市ホームページでの啓発に加え、終活講座、民生委員児童委員定例会、居場所に出向き高齢者向けの出前講座を実施した。
R6	0501	集合研修、オンライン研修等に積極的に参加し目標を達成できた。デジタル化の進展により、ますます複雑化、多様化及び高度化する消費者問題に対応するため、今後も積極的に研修を受講していく。
	0502	前年度と同様の啓発に加え、各種団体等の総会時などあらゆる機会にチラシを配布し啓発するとともに、広報いとうへの連載を開始し、継続的な啓発に取り組んでいる。

担当課	危機対策課	施策1－5の全指標達成率					
政策目標 1	安全で安心して暮らせるまち	年度	R3	R4	R5	R6	R7
施策分野 5	消防体制の強化（消防団体制の強化・消防水利の充実）	指標数	9	9	9	9	9
目指す姿	市民が火災を始めとする災害から守られ安心して暮らすことができる	達成数	5	6	6	4	0
		達成率	55.6%	66.7%	66.7%	44.4%	0.0%

1　成果指標（ＫＰＩ）

	R3	R4	R5	R6	R7
指標数	4	4	4	4	4
達成数	1	3	2	1	0
達成率	25.0%	75.0%	50.0%	25.0%	0.0%

成果指標1　消防団員充足率＜4月1日時点＞

基準値		R3	R4	R5	R6	R7	単位	担当課
R2 99.2%	目標値	100	100	100	100	100	%	危機対策課
	実績値	97.6	93.5	88.9	89.1			
	評　価	× 未達成	× 未達成	× 未達成	× 未達成			

目標値の考え方：災害等発生時に市民の生命・財産を守る消防活動を安全かつ円滑に実施するため、消防団員充足率を100%に設定した。

成果指標2　公務災害件数

基準値		R3	R4	R5	R6	R7	単位	担当課
R1 1件	目標値	0	0	0	0	0	件	危機対策課
	実績値	3	0	3	3			
	評　価	× 未達成	○ 達成	× 未達成	× 未達成			

目標値の考え方：災害活動・消防団活動を安全に実施することを目標に、公務災害発生件数を0に設定した。

成果指標3　夜警の実施率

基準値		R3	R4	R5	R6	R7	単位	担当課
R1 100%	目標値	100	100	100	100	100	%	危機対策課
	実績値	66.1	100	100	100			
	評　価	× 未達成	○ 達成	○ 達成	○ 達成			

目標値の考え方：火災予防広報の実施及び火災発生時での迅速な対応を目標に、夜警実施率を100%に設定した。

成果指標4　消防水利充足率

基準値		R3	R4	R5	R6	R7	単位	担当課
R1 75%	目標値	76	77	78	84 (79)	85 (80)	% 以上	危機対策課
	実績値	76	83	83	83			
	評　価	○ 達成	○ 達成	○ 達成	× 未達成			

目標値の考え方：消防水利不足解消を図るため、未整備地区に消防水利を整備することを目標に、消防水利充足率を80%以上とした。

R3年度

1（実績評価）・消防団員条例定数５０６人に対し、４９４人の登録となった。
（次年度修正点）・分団定数を満たすことが困難な地域もあるが、地域・分団からの意見を聞き取り、地域に過度な負担がかからないよう実情に応じた消防団員の募集を働きかけていく。

2（実績評価）・火災出動時での怪我２件に加え、地域の依頼により警戒出動した際の怪我１件、計３件の公務災害が発生してしまっ
（次年度修正点）・災害活動中の安全確認の徹底・幹部会議等で事故防止の啓発等を行い、公務災害の発生防止に努める。

3（実績評価）・新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、予定していた夜警日数のうち１９日間を中止としたため、目標を達成できなかった。
（次年度修正点）・新型コロナウイルス感染症の感染状況を注視し、適切な夜警巡回を実施する。

4（実績評価）・消防水利未整備地区に４基の消火栓を新設し、目標を達成することができた。(整備地区547÷全地区718×100)
（次年度修正点）・消防水利未整備地区への消火栓等の新設について、今後も引き続き伊東消防署・伊東市水道課と協議検討していく。

R4年度

1（実績評価）・消防団条例における定数５０６人に対し、４７３人の登録となった。
（次年度修正点）・若年層消防団員等の減少に伴い、地域によっては分団定数を満たすことができない分団も出てきていることから、引き続き消防団員の募集を働きかけていくことに加え、現状に見合った条例定数の見直しも含めた協議をしていく。

2（実績評価）・消防団活動中の公務災害は発生しなかった。
（次年度修正点）・引き続き、消防団活動中の安全確認の徹底、事故防止啓発を図り公務災害の発生防止に努める。

3（実績評価）・予定していた日数の夜警を実施できた。（雨天等による中止を除く）
（次年度修正点）・引き続き、適切な夜警活動の実施に努める。

4（実績評価）・消防水利充足率の算出を見直した結果、整備地区数が増加し、充足率が向上した。
（整備地区５９３÷全地区７１８×１００）
（次年度修正点）・消防水利未整備地区への消火栓等の新設について、引き続き、伊東消防署・伊東市水道課と協議検討していく。

R5年度

1（実績評価）・消防団条例における定数５０６人に対し、４５０人の登録となった。
（次年度修正点）・分団定数を確保することが困難な地域が増えているため、「分団定数に関するアンケート」を実施し、分団における諸問題を聞き取り、分団に見合った定数について協議していく。

2（実績評価）・火災出動時での怪我２件に加え、地域の依頼により警戒出動した際の怪我１件、計３件の公務災害が発生してしまった。
（次年度修正点）・災害活動中の安全確認の徹底・幹部会議等で事故防止の啓発等を行い、公務災害の発生防止に努める。

3（実績評価）・予定していた日数の夜警を実施できた。（雨天等による中止を除く）
（次年度修正点）・引き続き、適切な夜警活動の実施に努める。

4（実績評価）・消防水利未整備地区に２基の消火栓を新設したため、充足率が前年比０．３%増加したが、年間設置目標の５基を達成することはできなかったため、年間充足率１%の上昇には届かなかった。（整備地区５９５÷全地区７１８×１００）
（次年度修正点）・令和５年度実績値が当初設定していた令和７年度目標値を上回ったため、さらなる充足率の向上を目標として、令和６年度、令和７年度の目標値を上方修正する。

R6年度	1	（実績評価）・消防団条例における定数５０６人に対し、４５１人の登録となった。 （次年度修正点）・「分団定数に関するアンケート」の結果を踏まえ、消防団員数の適正化を図るため条例定数の改正及び消防団員を確保するための機能別消防団員制度を導入する。（伊東市消防団条例R7.4.1改正済）
	2	（実績評価）・自団訓練での安全確認不足による怪我１件に加え、火災活動時での怪我２件、計３件の公務災害が発生してしまった。 （次年度修正点）・災害活動中の安全確認の徹底・幹部会議等で事故防止の啓発等を行い、公務災害の発生防止に努める。
	3	（実績評価）・予定していた日数の夜警を実施できた。（雨天等による中止を除く） （次年度修正点）・各分団の負担軽減を図りながら、適切な夜警活動の実施に努める。
	4	（実績評価）・消防水利未整備地区に２基の消火栓を新設したため、充足率が前年比０．３％増加したが、年間設置目標の５基を達成することはできなかったため、目標を上方修正した年間充足率１％の上昇には届かなかった。（整備地区５９７÷全地区７１８×１００） （次年度修正点）・消防水利未整備地区への消火栓等の新設について、引き続き、伊東消防署・水道課と協議検討していく。

2　基本的な取組（2桁コード）・主な内容（4桁コード）

指標数	5	5	5	5	5	※ 基本的な取組・主な内容の達成状況		
達成数	4	3	4	3	0			
達成率	80%	60%	80%	60%	0%			

01　消防団員の確保

達成状況								
指標数	1	1	1	1	1			
達成数	0	0	1	1	0			
達成率	0%	0%	100%	100%	0%			

主な内容		管理指標	基準値		R3	R4	R5	R6	R7	単位	担当課
0101	地域・事業者等への入団促進に関する広報	広報いとうへの掲載回数	R1 1回	目標値	1	1	1	1	1	回以上	危機対策課
				実績値	0	0	1	1			
				評　価	×　未達成	×　未達成	○　達成	○　達成			

年度評価		
R3	0101	消防団行事等の実施に伴う広報は掲載できたが、入団促進に関する広報は掲載できなかった。今後は消防団行事等の実施に伴う広報を掲載する際、合わせて入団促進に関する広報を掲載するとともに、年度末等に新規入団者募集の広報を掲載する。
R4	0101	消防団行事等の実施に伴う広報は掲載できたが、入団促進に関する広報は掲載できなかった。今後は消防団行事等の実施に伴う広報を掲載する際、合わせて入団促進に関する広報を掲載するとともに、年度末等に新規入団者募集の広報を掲載する。
R5	0101	新規消防団員入団募集に関する広報を掲載することができた。
R6	0101	新規消防団員入団募集に加え、令和７年度から導入する機能別消防団員の募集に関する広報を掲載することができた。

02　消防団員の活動環境の整備・向上

達成状況								
指標数	2	2	2	2	2			
達成数	2	2	2	2	0			
達成率	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	0.0%			

主な内容		管理指標	基準値		R3	R4	R5	R6	R7	単位	担当課
0201	消防ポンプ車・安全装備品等の更新	安全装備品整備率	R1 100%	目標値	100	100	100	100	100	%	危機対策課
				実績値	100	100	100	100			
				評　価	○　達成	○　達成	○　達成	○　達成			
0202	常備消防との合同訓練等の実施	訓練の実施回数	R1 1回	目標値	1	1	1	1	1	回以上	危機対策課
				実績値	3	4	5	5			
				評　価	○　達成	○　達成	○　達成	○　達成			

年度評価		
R3	0201	消防団活動に必要な安全装備品（活動服・アポロキャップ・編上靴）を購入・支給することができた。
	0202	秋季消防総合演習・熱海市消防団合同訓練等、常備消防との合同訓練を実施することができた。
R4	0201	消防団活動に必要な資機材・安全装備品（小型動力ポンプ・活動服・アポロキャップ・編上靴）を購入・支給することができた。
	0202	秋季消防総合演習（２会場）・熱海市消防団合同訓練・伊豆市消防団合同訓練において、常備消防との合同訓練を実施することができた。
R5	0201	消防団活動に必要な資機材・安全装備品（小型動力ポンプ・活動服・アポロキャップ・編上靴・防寒着・ヘルメット）を購入・支給することができた。
	0202	秋季消防総合演習（２会場）・東伊豆町消防団合同訓練・熱海市消防団合同訓練・伊豆市消防団合同訓練において、常備消防との合同訓練を実施することができた。
R6	0201	消防団活動に必要な資機材・安全装備品（小型動力ポンプ・活動服・革手袋・アポロキャップ・編上靴・ヘッドライト・保護メガネ・防塵マスク）を購入・支給することができた。
	0202	秋季消防総合演習（２会場）・東伊豆町消防団合同訓練・熱海市消防団合同訓練・伊豆市消防団合同訓練において、常備消防との合同訓練を実施することができた。

03　消防水利の充実強化

達成状況		R3	R4	R5	R6	R7
	指標数	1	1	1	1	1
	達成数	1	1	1	0	0
	達成率	100%	100%	100%	0%	0%

主な内容	管理指標	基準値		R3	R4	R5	R6	R7	単位	担当課
0301　水利希薄地域への耐震性貯水槽の適切かつ計画的な建設	消防水利充足率の向上	R1 75%	目標値	76	77	78	84 （79）	85 （80）	%	危機対策課
			実績値	76	83	83	83			
			評　価	○　達成	○　達成	○　達成	×　未達成		以上	

年度評価		
R3	0301	消防水利未整備地区に４基の消火栓を新設し、充足率を向上することができた。
R4	0301	消防水利充足率の算出を見直した結果、整備地区数が増加し、充足率が向上した。
R5	0301	消防水利未整備地区に２基の消火栓を新設したものの、年間設置目標の５基を達成することは出来なかったため、年間充足率１％の上昇には届かなかった。
R6	0301	消防水利未整備地区に２基の消火栓を新設したものの、年間設置目標の５基を達成することはできなかったため、上方修正した令和６年度の目標値には届かなかった。消防水利未整備地区への消火栓等の新設について、引き続き、伊東消防署・水道課と協議検討していく。

04　消防団への入団意欲の増強

達成状況		R3	R4	R5	R6	R7
	指標数	1	1	1	1	1
	達成数	1	0	0	0	0
	達成率	100%	0%	0%	0%	0%

主な内容	管理指標	基準値		R3	R4	R5	R6	R7	単位	担当課
0401　ありがとう消防団応援事業所の登録数増加	登録事業所数	R1 24か所	目標値	26	85	90	95	100	か所	危機対策課
			実績値	79	80	80	80			
			評　価	○　達成	×　未達成	×　未達成	×　未達成		以上	

年度評価		
R3	0401	伊東商工会議所や伊東観光協会に働きかけ、事業所登録の募集を行い、目標を達成することができた。
R4	0401	消防団各会議等において、消防団員に当該事業を説明し、事業所登録を働きかけるも目標を達成できなかった。 商工会議所、飲食業組合等から新規事業所等の情報をいただき、引き続き登録事業所の増加に努める。
R5	0401	消防団各会議等において、消防団員に当該事業を説明し、事業所登録を働きかけるも目標を達成できなかった。 商工会議所、飲食業組合等から新規事業所等の情報をいただき、引き続き登録事業所の増加に努める。
R6	0401	消防団各会議等において、消防団員に当該事業を説明し、事業所登録を働きかけるも目標を達成できなかった。 商工会議所、飲食業組合等から新規事業所等の情報をいただき、引き続き登録事業所の増加に努める。